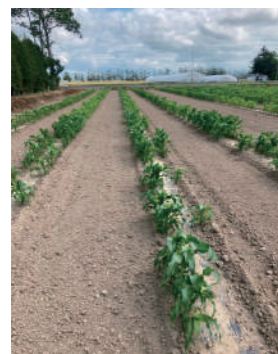


生分解性マルチの効果確認試験

JAなんぽろ

小松 良樹



7月1日①



7月1日②



慣行品



慣行品全体



試験①



試験②

試験目的

系統銘柄生分解性マルチの効果確認

試験作物
及び品種

スイートコーン

試験資材
及び数量(規格)

(0.015mm×95cm×200m) 黒有孔(9230)

慣行資材

ナトゥーラ

栽培方法

定植日	収穫日
慣行区: 4月26日 試験区: 4月26日	慣行区: 8月12日 試験区: 8月12日

【栽植密度】
畝幅: 45cm
株間: 30cm

資材使用期間

4月26日～9月8日

試験区面積

190㎡

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張は裂けなどもなく、問題はなかった。慣行品と同レベルで使用できた。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

猛暑で水不足であったため、生育にバラつきが見られたが、マルチのせいではない。収穫時期も例年どおりとなり、問題はなかった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 通常通り使用できること

【問題点】: 特になし、規格を多岐にしてほしい

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

すきこみをした時も機械に絡まることもなく、通常通り使用できた。1年で崩壊はしないため、今後どのぐらいで完全に崩壊するか確認していきたい。

(5)促成・抑制効果について

促成させるため、パオパオを使用している。慣行品と同程度の促成効果となった。

(6)保温効果について

0.015mmで慣行品よりも0.001mm薄くなったが、目に見える生育差は見られなかったため、保温効果も慣行品と同等と思われる。

(7)雑草・病害虫の発生について

雑草を抑制するために黒を使用している。培土するのであれば、透明でも問題はないと思う。除草剤を使用せず生育することができた。

モニター感想

試験品は問題がなかった。あとはコスト面でどの程度慣行品と差がつくかと思っている。

また、通常は800m巻きの有孔を使用しているため、供給体制が整っていれば十分に慣行品からの切り替えは可能と思う。

農協と相談し、予約取りまとめのメリットが感じられれば試験品の購入を検討したい。

JA担当者の感想(資材課 田中 氏)

当JAでは慣行品(ナトゥーラ)が生産者に対し定着していたが価格面及びとりまとめ時の数量調整等の問題により、一部商系業者へ顧客が流れたことから、ナトゥーラに変わる新たな商品を提案すべく試験に至った経緯がある。

今回、結果としては慣行品に対し0.001mm薄いという点で破れや分解速度に注意して経過を見ていたがモニター感想でもあるように特段問題はなかったと思う。

要望通りの規格が特注で製造が可能になりコスト面でも商系品より優位に立てば期待できると考えられる。

長尺対応が可能になればさらに各主要農家に対し推進、場合によっては試験を実施し農協利用率を上げたい。

今後の使用について

改良してほしい。
品質は問題ないが規格の細かな要望に対応できるようにしていただきたい。

将来希望する資材について

同レベルかつ低コスト資材があればなお良い。さらにすきこみ後分解までが短期間のもの。